

# 国際金融論（2010）中間試験

2010年11月19日 13:30-14:30

## 一般的な注意

- ・講義で配布したプリント・ノート等いっさい持ち込み不可とする。
- ・講義と異なる記号を用いる場合、「kは円建資産の利子率を表す」というように改めて定義すること。講義と同じ記号は定義せずに用いてよい（円＝ドル・レートを表すEなど）。

第1問 以下の各問に簡潔に答えなさい。それぞれ答えのみでよい。説明不要（各2点・7のみ4点）

1. 円＝ドル・レートが80円から85円へと上昇した。この変化は円高か円安か。
2. この10年間の日本経済の成長について、GDPの観点からどう評価できるか。
3. ある年に対外純資産が減少したとする。この国のその年の経常収支は黒字・赤字どちらであったか。
4. ある年の経常収支と狭義の資本収支がともに黒字であったとする。この年、この国の政府の外貨準備（＝政府の保有するドル建資産）は増加したか、それとも減少したか。
5. 現在でも固定相場制を採用している国が存在する。これは正しいか。
6. 先渡契約を結んでおけば、ドル建資産を購入して必ず収益をあげることができる。これは正しいか。
7. (1)日本人がアメリカのA書店から本を購入し、(2)その代金を三菱東京UFJ銀行のA書店の口座に振り込んだとする。それぞれの取引は、国際収支表のどの勘定のどちら（貸方・借方）に記録されるか。
8. 大工が自宅の屋根を修理した場合、この生産活動はGDPに計上されるか。
9. 農家が作物の一部を家族で食べてしまった場合、それらの生産物はGDPに計上されるか。

第2問 今、円建資産の利子率が0.02、ドル建資産の利子率が0.08、将来の予想円＝ドル・レートが1ドル100円であるとする。以下の各問に答えなさい。

1. 金利平価モデルで考えるならば、今日の円＝ドル・レートの水準はだいたいいくらになるか（小数点以下1ケタまででよい）。計算過程も簡潔に示しなさい（10点）
2. 今、1年後の円＝ドル・レートに関する予想が1ドル85円に変化したとする。今日の円＝ドル・レートはどのようなプロセスを経て、どのように変化するか。なるべく丁寧に説明しなさい（10点）
3. 上のケースで、具体的に円＝ドル・レートはだいたいいくらになるか（小数点以下1ケタまででよい）。再び、計算過程も簡潔に示しなさい（10点）

第3問 GDP統計に関連する以下の各問に答えなさい。

1. 今、ある国の昨年の民間貯蓄が80兆円、民間投資が50兆円、財政赤字が50兆円であったとする。この国の経常収支はいくらであったか説明しなさい（10点）
2. 「経常収支の赤字を縮小するには、財政赤字を縮小することが必要だ」という主張の根拠と、その留意点を説明しなさい（10点）

第4問 貨幣需要に関する以下の各問に答えなさい。

1. 貨幣需要曲線を描きなさい。ただし、縦軸・横軸にそれぞれ何を測っているか明示すること（10点）
2. 貨幣需要曲線がそのような形状（右上がり・右下がり・水平・垂直など）になる理由を説明しなさい（10点）

第5問 ある男子学生が偶然に金の延べ棒を拾いました。この学生の彼女がこの話を人づてに聞き、「私にちょうだい」と言ってみたところ、男子学生は「君にあげるかどうかは金の市場価格によるなあ」と答えました。彼女は「お店で買ってくれと言ってるわけじゃないのに、なんで市場価格とか出てくるわけ？」と半ば怒っています。彼女の怒りを鎮められるかどうかはともかく<sup>1</sup>、経済学を学んでいるあなたならどう説明しますか（10点）

<sup>1</sup>余談ですが、論理的に正しいことを主張することは必ずしもよい結果をもたらさないものです。